

道 下 徳 成 教 授

役 職：学長補佐、安全保障・国際問題プログラムディレクター、AO 室長代理

専門分野：安全保障・外交

学 位：Ph.D. in International Relations, Johns Hopkins University

略 歴：1988 年韓国延世大学校韓国語学堂卒業、1990 年筑波大学第三学群国際関係学類卒業、同年防衛庁防衛研究所第 2 研究部第 3 研究室助手（防衛庁教官）、1994 年米国ジョージ・ホプキンス大学ポール・H・ニッツェ高等国際問題研究大学院（SAIS）修士課程修了、2000 年 1 月-11 月防衛庁防衛局防衛政策課研究室部員（防衛庁部員）、同年 11 月-2001 年 11 月韓国慶南大学校極東問題研究所 客員研究員、2001 年 4 月-2004 年 3 月防衛庁防衛研究所第 2 研究部第 3 研究室主任研究官（防衛庁教官）、2003 年米国ジョージ・ホプキンス大学ポール・H・ニッツェ高等国際問題研究大学院（SAIS）博士課程修了、2004 年- 米国家安全保障史料館朝鮮半島プロジェクト研究員、2004 年 7 月-2006 年 6 月内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）付・参事官補佐（兼）防衛庁防衛局防衛政策課部員（防衛庁部員）（兼）防衛庁防衛研究所研究部主任研究官、2005 年 12 月 3 日- 第 3 期国際安全保障学会理事（学会誌『国際安全保障』編集委員。書評小委員会委員長）、2006 年 7 月-2007 年 1 月防衛庁防衛研究所研究部第 2 研究室主任研究官（防衛庁教官）、2007 年 1-3 月防衛省防衛研究所研究部第 2 研究室主任研究官（防衛教官）、2007 年 4 月本学助教授。2007 年 4-9 月米国ジョージ・ホプキンス大学 SAIS ライシャワー・センター東アジア研究所客員研究員（安倍フェロー）、2007 年 12 月-2008 年 3 月韓国世宗研究所（Sejong Institute）客員研究員（安倍フェロー）、2008 年 9-10 月中国社会科学院亜州太平洋研究所訪問学者（安倍フェロー）、2008 年 9 月- 韓国新亜細亜研究所 学術誌『新亜細亜（NEW ASIA）』編集委員、2008 年 12 月- 第 4 期国際安全保障学会理事（学会誌『国際安全保障』編集委員長）、2009 年 4 月- 早稲田大学アジア太平洋研究センター安全保障研究部会特別研究員、2010 年 1 月政策研究大学院大学准教授、2014 年 4 月政策研究大学院大学教授。

1. 業 績 (A)

(1) 図 書

① 単 著

* 『道下徳成 , 1966-2013 』道下徳成 , 2014 . (韓国語図書。
道下徳成『北韓の瀬戸際外交史、1966～2013 年』李苑暲訳、ソウル、図書出版ハンウル、2014 年)

② 編・共著等

* 高作正博・道下徳成監修『イラストでわかる集团的自衛権』英和 MOOK、英和出版社、2014 年。

(2) 雑誌論文 (単 著)

* “Changing Security Relationship between Japan and South Korea: Frictions and Hopes,” *Asia-Pacific Review*, Vol. 21, No. 2, 2014, pp. 19-32.

(3) 学会発表

* 道下徳成、司会・討論、自由論題「北朝鮮をめぐる」現代韓国朝鮮学会 第 15 回研究大会、新潟国際情報大学、2014 年 11 月 19 日

- * 道下徳成、討論、分科会「安全保障Ⅰ」日本国際政治学会 2014年度研究大会、福岡、2014年11月14日

(4) その他

① 研究会発表

- * 「新大綱と日本の防衛戦略の将来」平和・安全保障研究所 奨学プログラム 第16期定例セミナー、2014年4月19日。
- * 「激動する東アジアと韓国新戦略の行方」日本記者クラブ、記者ゼミ 第16回、朝鮮半島編④、2014年4月24日。
- * “Changing Strategic Environment in Asia and Japan’s Response,” Dongseo University, Seoul, May 19, 2014.
- * “Japan-Korea Security Relationship: Opportunities and Challenges,” Twelfth Japan-Canada Symposium for Peace and Security Cooperation, Tokyo, June 9, 2014.
- * 「日本の安全保障戦略と日米韓協力の将来」シンポジウム「東アジアの安全保障と日米韓協力の意義」国際教養大学、秋田、2014年6月13日。
- * “Changing Strategic Environment in Asia and Japan’s Response,” NATO Parliamentary Assembly Japan Study Program, GRIPS, June 18, 2014.
- * 「韓国新戦略の行方と日韓安保協力の将来」NPO 国際地政学研究所ワークショップ、2014年6月20日。
- * 「北朝鮮の核・ミサイル開発と日本の対応」交詢社 安全保障研究会、2014年6月25日。
- * “The Rise of China and Japan’s Response,” FCCJ Professional Luncheon, June 27, 2014.
- * “Changing Strategic Environment in Asia and Japan’s Response,” KAKEHASHI Project —The Bridge for Tomorrow, 8 July 2014.
- * 「集団的自衛権と日本の安全保障」平和・安全保障研究所 奨学プログラム 第17期定例セミナー、2014年7月19日。
- * 「集団的自衛権の（法律論ではなく）戦略論」IGIJ 特別ワークショップ・パネル討論「集団的自衛権行使容認のこれから」2014年8月12日。
- * 「集団的自衛権と日本の安全保障戦略」第8回外交・安保サマーセミナー、2014年9月13日。
- * “North Korea’s Nuclear/Missile Development and Japan’s Response,” presentation at the Global Strategic Review 2014 sponsored by the International Institute for Strategic Studies, Oslo, Norway, September 20, 2014.
- * “North Korea’s Nuclear/Missile Development and Japan’s Response,” presentation at the RAND Corporation, Santa Monica, California, November 6, 2014.
- * “Changing Strategic Environment in Asia and Japan’s Response,” Keizai Koho Center seminar, November 17, 2014.
- * “The Rise of China and Japan’s Response, The Japan-Europe Dialogue, “Creating Together a Better Future: Rule-Based and Prosperous,” November 21, 2014.
- * “Perception from Japan,” International Roundtable at the Fondation pour la recherche stratégique on “China’s Nuclear Policy and Evolving Nuclear Capabilities: Crossed Perceptions,” Paris, December 8, 2014.
- * “Maintaining Balance of Power and Creating Crisis Prevention Mechanism,” presented at the workshop on “Regional Architecture and Framework for Cooperation in the Asia-Pacific”

organized by the Departments of Japanese Studies & Political Science, National University of Singapore, 8 January 2015.

2. 業績(B)

(1) 書評・解説等

① 書評

- * 宮本悟著『北朝鮮ではなぜ軍事クーデターが起きないのか』、『現代韓国朝鮮研究』第14号、2014年11月、90-92頁

② コラム

- * “Can Japanese economy come back,” Straits Times, April 23, 2014.
- * “Can Asia outwit Sun Tzu’s strategy,” Straits Times, June 4, 2014.
- * “Can Japan exercise collective self-defence effectively,” East Asia Forum, June 21, 2014.
- * 「日韓安全保障協力の展望」『RIPS’ Eye No.182』2014年7月7日.
- * “Can Abe and Kim work together,” Straits Times, July 23, 2014.
- * “Japan gears up for 2020,” Straits Times, Sept 3, 2014.
- * “Japan faces tricky balancing act in ties with Russia,” Straits Times, Oct 15, 2014.
- * “Japan faces tricky entry into world arms market,” Straits Times, Dec 3, 2014.
- * “Abe must be bold in carrying out reforms,” Straits Times, Dec 31, 2014.
- * “In which direction is Kim Jong Un taking North Korea,” Straits Times, Jan 22, 2015.
- * “Japan, Singapore, and 70 years of post-war ties,” Straits Times, Feb 11, 2015.
- * “Kids, shh! Elderly neighbours nearby,” Straits Times, March 25, 2015.

③ 解説

- * 「『地域安全保障に関する県民意識調査』について（安全保障分野を中心に）」沖縄県知事公室編『平成26年度 地域安全政策調査研究報告 —アジア太平洋地域の中の沖縄』2015年3月、87-89頁。
- * “Reading the ‘Survey on Okinawa’s Attitude toward Regional Security,’” in Okinawa Prefectural Government, ed., Regional Security Policy Research Report 2014: Okinawa in the Asia-Pacific Region (March 2015), pp. 89-92.

3. 助成金等による研究

- * 日本学術振興会「東日本大震災に係る学術調査」国際関係班 研究分担者

4. 教育

(1) 講義

- * 「Strategic Studies Research Methodologies」（英語）（春学期）
- * 「情報と安全保障」（日本語）（春学期）（総括担当および講義1コマ。オムニバス形式講義）
- * 「情報と安全保障特論」（春学期）（「情報と安全保障」との修博合同講義）
- * 「International Security Studies」（英語）（冬学期）
- * 「Advanced International Security Studies」（英語）（冬学期）（「International Security Studies」との修博合同講義）
- * 「わが国の安全保障政策の現状と展望」2014年6月11日（1コマのみ）

- (2) 演習
 - * 「Security and International Studies Program Dissertation Seminar」(英語)(春学期)(総括担当)
- (3) 論文指導
 - * One-year Master's Program of Public Policy : 修士課程 2 名 (主指導 2 名、2 名学位取得)
 - * 公共政策プログラム : 博士課程 1 名 (副指導 1 名)
 - * 安全保障・国際問題プログラム : 博士課程 12 名 (主指導 8 名・副指導 4 名)
 - * 政策プロフェッショナルプログラム : 博士課程 1 名 (主指導 1 名)
- (4) 研修事業
 - ① 講義
 - * “The Rise of China and Japan's Response,” 東南アジア有識者との意見交換会、November 27, 2014
 - * 「危機管理(安全保障)」ベトナム共産党幹部研修、2014年10月10日
 - ② 司会
 - * マンスフィールドセミナー 司会 2014年5月15日、6月16日
 - * Symposium at GRIPS for NATO Parliamentary Assembly, Parliamentarians Exchange Programme, March 9, 2015
 - * パキスタン外務次官講演、2014年3月26日

5. 管理・運営への関与

- (1) 委員会
 - * 研究教育評議会 委員
 - * 博士課程委員会 委員
 - * GRIPS フォーラム運営委員会 委員
 - * GRIPS Global Governance Program Committee (G-cube)
 - * 安全保障・国際問題プログラム・コミティー
 - * 防災・復興・危機管理プログラム・コミティー
 - * Young Leaders Program Committee
 - * 教育ソフト改善委員会
 - * 役員会
 - * 企画懇談会
- (2) タスクフォース
 - * リーディング大学院タスクフォース
 - * プログラム改革推進本部
 - * 第3期中期目標・計画検討ワーキンググループ
- (3) その他
 - * 学長補佐
 - * 安全保障・国際問題プログラム ディレクター
 - * AO 室長代理
 - * 海上保安政策プログラム 立ち上げ準備
 - * 防衛研究所との連携プログラム 立ち上げ準備
 - * 昼食セミナー コーディネーション・司会担当

6. 社会的貢献（A）

（1） 他大学・研究所等における活動

① 大学講義—短期

- * “Myths and Realities of Japanese Security Policy,” Temple University’s Institute of Contemporary Asian Studies (ICAS), April 18, 2014
- * 山梨学院大学「北朝鮮の核・ミサイル開発と日本の対応」（1コマ）2014年12月5日。
- * 北京大学（中国）「日本の外交・安全保障政策」（3コマ）（国際交流基金支援事業）、2015年3月30–31日
- * “Rise of China and Japan’s Response,” Capstone Project by The Elliott School of International Affairs at the George Washington University, March 10, 2015

② 政府機関等での講義

- * 「現代戦略論」航空自衛隊幹部学校 第62期指揮幕僚課程（CSC）、2014年4月16日
- * 「東アジア情勢——朝鮮半島、中国、そして日本の安全保障」法務総合研究所 入国管理局関係職員管理科研修（A課程）2014年4月17日
- * 「北朝鮮の核・ミサイル開発と日本の対応」警察大学校、2014年5月29日。
- * 「北朝鮮のゲームプランと今後の展望」警察大学校、2014年5月29日。
- * 「中国の台頭と日本の対応 —冷戦期と現在の比較を通じて」防衛省情報本部 第13期基礎分析官研修、2014年6月19日
- * 「現代戦略論」航空自衛隊幹部学校 第65期幹部高級課程（AWC）、2014年7月17日
- * 「北朝鮮の核・ミサイル開発と日本の対応」警察大学校、2014年8月13日。
- * 「日韓関係と安全保障協力の今後」警察大学校、2014年8月13日。
- * 「北朝鮮の核・ミサイル開発と日本の対応」第8回外交・安保サマーセミナー、2014年9月13日
- * 「中国の台頭と日本の対応 —冷戦期と現在の比較を通じて」防衛省情報本部、2014年10月3日
- * 「日本の安全保障政策（3） 新冷戦と日本のグローバルコミットメント」防衛研究所 第62期一般課程、2013年11月10日。
- * 「北方限界線をめぐる南北朝鮮の攻防—政治、経済、軍事、国際法」海上保安庁 警備情報実務者研修、2014年11月11日。
- * 「朝鮮半島をめぐる諸問題について」法務総合研究所 第49回入国管理局関係職員高等科研修、2014年11月21日
- * 「現代戦略論」航空自衛隊幹部学校 第66期幹部高級課程（AWC）、2014年12月12日
- * 「安全保障概論 中国の台頭と日本の対応 —冷戦期と現在の比較を通じて」陸上自衛隊幹部学校 第60期指揮幕僚課程（CGS）、2015年1月16日
- * “North Korea’s Nuclear/Missile Development and Japan’s Response,” National Defense Academy, January 20, 2015
- * 「日本の防衛政策の今後のあり方」国立国会図書館外交防衛課、2015年1月21日
- * 「北朝鮮の核・ミサイル開発と日本の対応」警察大学校、2015年2月9日
- * 「日韓関係と安全保障協力の今後」警察大学校、2015年2月9日
- * 「中国の台頭と日本の対応 —冷戦期と現在の比較を通じて」航空自衛隊 美保基地

幹部会、2015年2月13日

* 「国内外の諸情勢 ー安全保障問題を中心にー」第49回入国管理局関係職員管理科研修(B課程)、2015年2月27日

* “Changing Strategic Environment in Asia and Japan’s Response,” US National War College Delegation, March 25, 2015

③ 一般向けの講演

* 「北朝鮮と日本」東京みなとロータリークラブ、2014年10月14日

* 「北朝鮮の核・ミサイル開発と日本」横須賀市市民大学、2015年1月18日

④ その他

* 平和・安全保障研究所(RIPS)ー国際交流基金日米センター(CGP)第3期 日米パートナーシップ・プログラム ディレクター(研究員の選考、講義実施、論文指導など)(2014年6月ー現在)

(2) 学会等における活動

* 国際安全保障学会(学会理事、企画・運営委員会委員)

(3) その他

* Asia-Pacific Review, editorial board member(世界平和研究所)

* 学術誌『新亜細亜(NEW Asia)』編集委員(韓国新亜細亜研究所)

* Journal of Asian Security and International Affairs, editorial board member

7. 社会的貢献(B)

(1) ジャーナリズムでの発言

① 活字メディア

* “Japan ends half-century ban on weapons exports,” Boston Globe, April 1, 2014.

* “Japan’s New Export Rules Broaden Global Role,” Defense News, April, 2104.

* “U.S., in nod to Tokyo, to send more ships to Asia,” Reuters, April 6, 2014.

* “In a Test of Wills With China, U.S. Sticks Up for Japan,” New York Times, April 7, 2014.

* “Obama, Abe to battle negative images at U.S.-Japan summit,” Reuters, April 17, 2014.

* “Calling America, from Asia—A dispatch from Japan,” Star Tribune, April 18, 2014.

* “Japan’s Abe dubs China vital partner amid territorial disputes,” Reuters, April 18, 2014.

* “Japan’s return poses questions for an old ally,” Australian Financial Review, April 24–27, 2014.

* “Okinawa—resort island or battle zone,” Japan Times, May 9, 2014.

* “Japan To Take Major Step Toward Collective Self-Defense,” Defense News, May 11, 2014.

* “Israel, Japan enhance bilateral ties,” Channel NewsAsia, May 13, 2014.

* “Japan’s Abe Takes Step to Enhance Military’s Role,” Associated Press, May 15, 2014.

* “Japanese panel urges greater military role,” Associated Press, May 16, 2014.

* “Vietnam, Japan, US, ASEAN should increase pressure on China,” Voice of Vietnam, May 18, 2014.

* “Abductions set to top North Korea-Japan talks,” Kyodo, May 26, 2014.

* “While trip avoids Beijing, Obama keeps eye on China,” New York Times, April 27, 2014.

* “As Asia frets over China, warmer welcome likely for Japan PM’s push,” Reuters, May 29, 2014.

* 「日朝合意」『毎日新聞』2014年5月30日.

- * “Japan’s deal with North Korea,” *The Economist*, May 30, 2014.
- * “ASEAN the real test for Abe,” *Kyodo*, June 2, 2014.
- * “Putin Looks East to Bolster Ties With North Korea,” *Associated Press*, June 4, 2014.
- * 「集団的自衛権 — 現実に沿った議論を」 『朝日新聞』 2014 年 6 月 16 日.
- * “Japan set for landmark easing of constitutional limits on military,” *Reuters*, June 27, 2014.
- * “Can Japan benefit from lifting the arms export ban,” *Japan Times*, June 28, 2014.
- * “Japan Loosens Guidelines for Defensive Operations,” *Defense News*, July 1, 2014.
- * “Japan Ends Ban on Military Self-Defense,” *TIME*, July 1, 2014.
- * “Pacifist no more—Experts discuss Japan’s military,” *Associated Press*, July 3, 2014.
- * “Seoul’s high-stakes honeymoon with Beijing,” *Nikkei*, July 4, 2014.
- * 「集団的自衛権を問う」 『共同通信』 2014 年 7 月 4 日.
- * “Japan May Return to Centralized Procurement,” *Defense News*, July 5, 2014.
- * “Le pacifisme aux oubliettes,” *Le Devoir*, July 7, 2014.
- * “Expedience, pragmatism shape new Asian alliances,” *Associated Press*, July 8, 2014.
- * “North Korea conducts new drills, raising tensions with South Korea,” *Washington Post*, July 14, 2014.
- * “Japanese arms firms—Late starters,” *The Economist*, July 19, 2014.
- * “Closer Tokyo-Pyongyang relations may bring new dynamism to the region,” *Global Times*, July 24, 2014.
- * 「日本の防衛産業、輸出は可能でも競合より不利」 『日本経済新聞』（電子版）2014 年 8 月 1 日。（エコノミスト誌記事の翻訳版）
- * “「西の空気吸った」金正恩氏に決断促す、拉致問題で古屋担当相,” *Bloomberg*, Aug 28, 2014.
- * “Australia has not approached Japan on submarine purchase,” *Channel NewsAsia*, Oct 7, 2014.
- * “Japan, U.S. discussing offensive military capability for Tokyo,” *Reuters*, Sept 10, 2014.
- * “China’s Dangerous Game,” *The Atlantic*, Oct 13, 2014.
- * “For Japan, Small Gesture Holds Great Importance,” *New York Times*, Oct 18, 2014.
- * “Northeast Asia’s security challenges only deepen,” *Korea Joongang Daily*, Oct 24, 2014.
- * “APEC Raises Hopes for China, Japan to Begin Mending Diplomatic Ties,” *The Wall Street Journal*, Nov 6, 2014.
- * “On eve of summit, Japan and China pull back from the brink,” *McClatchy DC*, Nov 7, 2014.
- * “Shinzo Abe udskriver valg—før det er for sent,” *Berlingske*, Nov 2014.
- * “Japan To Focus on Atago, PAC-3 Upgrades,” *Defense News*, Nov 18, 2014.
- * 「米韓同盟は新段階に」 『東京新聞』 2014 年 11 月 25 日.
- * 「安倍政治を問う（外交安保）」 『共同通信』 2014 年 11 月 27 日.
- * “Tokyo Keeps Washington Waiting on Defense,” *The National Interest*, Dec 12, 2014.
- * “Jeu de go en haute mer entre Chine et Japon,” *Le Figaro*, Dec 12, 2014.
- * 「北朝鮮 対米・韓で新たな展開も」 『朝日新聞』 2015 年 1 月 31 日.
- * “China fears Japan will use hostage crisis to drop pacifist policies,” *McClatchyDC*, Feb 3, 2015.
- * “Japan could soon authorise its military to defend Australian troops,” *The Interpreter*, Feb 20, 2015.
- * “Australia asks trio to bid for \$39 billion submarine project,” *Bloomberg*, Feb 20, 2015.
- * “Japan builds military forces to counter Chinese threats,” *Washington Times*, March 16, 2015.

- * 「国際協調主義に転換」『北海道新聞』2015年3月21日.
- * 「与党：安保法制で合意、自衛隊の活動拡大―他国軍支援で新法検討」 Bloomberg, Mar 22, 2015.

② 電波メディア

- * “Japan’s security policy,” ABC News Radio (Australia), April 9, 2014
- * 「日本の安全保障政策」ラジオ『NHK ジャーナル』2014年6月30日
- * 「集団的自衛権」ラジオ『NHK ジャーナル』2014年8月13日
- * 「衆院選後の政権課題 集団的自衛権・安全保障政策は？」ラジオ『NHK ジャーナル』2014年12月17日

(2) 講演会, 座談会, 会議出席

- * Asialink Conversations, Hiroshima, Japan, 10–12 April 2014
- * 「集団的自衛権を考える」『言論スタジオ』2014年6月13日
- * 防衛研究所 戦争史研究国際フォーラム、2014年9月17日
- * “Japan in East Asian Security,” workshop organized by the Center for International Studies of the Massachusetts Institute of Technology in collaboration with Graduate School of East Asian Studies of the Free University of Berlin, Seminaris CampusHotel Berlin, 26–28 January 2015